

授業科目名	キャリア開発 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	板倉 利治					NO.	GE-CG-1-001		
配当学科	農学部				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・ワーク		
テーマと到達目標	「キャリア発達論」に基づいて、学生一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリア形成をしていくために必要な意欲や態度、能力を育てていく。さらには、大学生活で直面するであろう様々な課題に向き合い、対応していくことで、大学生として必要なキャリア発達課題に向き合い、卒業後に迎える社会人・職業人として自立していくことを到達目標とする。								
概要	大学教育の持つ「専門的な知識・技能」に対し、当授業は将来、社会人・職業人として自立していくために必要な「基礎的・基本的な知識や技能」を講義及び、個人ワーク(個W)・グループワーク(GW)と組み合わせながら、大学生としての発達に沿って、実践的に身に付けていく講義を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、企業の採用担当者としての20年以上の実務経験を持つ講師が、その経験を活かし、卒業後の進路選択について実践的に役立つ授業を実施する。								
評価方法	この科目での評価方法は、5つの基本項目について行う。その5つとは①傾聴力②読解力③文章表現力④会話力⑤思考力である。具体的には、個人ワークやグループワークでの参加姿勢、ミニレポート内容(70%)、期末時の筆記試験(30%)の総合で評価する。								
履修条件・注意事項	毎講義ごとにプリントを配布するので、ファイルを準備すること。欠席した場合は、その日の資料を友人などから借りてコピーを取っておくこと。								
自己学習	考えることに主眼を置いているので、講義で出てきたキーワードを考えて貰いたい。この学びは付け焼き刃的に成り立つものではなく、日々の行動による小さな積み重ねに基づいたもので、1か月後、3か月後、6か月後の自分創りを目指していくものである。								
オフィスワ-	講義終了後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 大学生生活入門編1 大学で学ぶこと1 大学とは			講義・ワーク	板倉					
第2回 大学生生活入門編2 大学で学ぶこと2 リベラルアーツ			講義・ワーク	板倉					
第3回 大学生生活入門編3 自分を知る アイデンティティ			講義・ワーク	板倉					
第4回 大学生生活入門編4 自分の足で歩く 目的と目標			講義・ワーク	板倉					
第5回 大学生生活基礎編1 社会人基礎力 身につけたい5つの力			講義・ワーク	板倉					
第6回 大学生生活基礎編2 ①傾聴力 傾聴がコミュニケーションの基本			講義・ワーク	板倉					
第7回 大学生生活基礎編3 ②読解力 「読む力」の大切さを認識する			講義・ワーク	板倉 板倉 板倉					
第8回 大学生生活基礎編4 ③文章表現力 自己紹介文を作る			講義・ワーク	板倉					
第9回 大学生生活基礎編5 ④会話力 相互理解を深める「会話」を理解する			講義・ワーク	板倉					
第10回 大学生生活基礎編6 ⑤思考力 帰納法と演繹法、多面的思考を理解する			講義・ワーク	板倉					
第11回 就職活動基礎編1 働くということ 夢を持つ(目標を高くし、それに向き合う)			筆記試験	板倉 教科書					
第12回 就職活動基礎編2 仕事について 業種・業界など視野を広く持つ									
第13回 就職活動基礎編3 会社の理解 求人票・労働条件を理解する									
第14回 就職活動基礎編4 アクションプラン 自分の特性を知る									
第15回 就職活動基礎編5 振り返り キャリアをデザインする									
第16回 筆記試験									
教科書 1	使用しない(必要に応じ・プリントを配布する)								

教科書 2	
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	板倉 利治					NO.	GE-CG-3-002		
配当学科	農学部				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・ワーク		
テーマと到達目標	「キャリア発達論」に基づいて、学生一人一人のキャリア発達を支援する。特に、これから大学生活だけではなく、社会とこれから向き合っていく段階として、必要となる「意識」「態度」「能力」を育成していく。さらには、就職活動で直面するであろう様々な課題に向き合えるような考え方や姿勢を身につけ、社会人・職業人として自立していくことを到達目標とする。								
概要	<p>学生生活で得た経験を振り返り、これから社会と向き合っていく自身のキャリアについて考える。具体的には、社会人生活で切り離せない「人との関係性」について、社会性・協働性と共に自分のものとしていく。さらには、「雇用される能力」を理解し、就職に必要な知識と能力を身につけていく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、企業の採用担当者としての20年以上の実務経験を持つ講師が、その経験を活かし、卒業後の進路選択について実践的に役立つ授業を実施する。</p>								
評価方法	①傾聴力 ②読解力 ③文章表現力 ④会話力 ⑤思考力の5項目に基づき、講義時の参加姿勢及びミニレポート内容・筆記試験(70%)、期末筆記試験(30%)の総合評価にて行う。								
履修条件・注意事項	必要に応じ、プリント配布するので、ファイルの準備をし、個人人しっかり管理すること。(ミニレポートについても同様)								
自己学習	必要に応じて課題を提供するので、個人でもチームでも主体的に取り組むこと。特に就職活動は、一人一人のマッチング活動となるので、自身の気づきが重要となる。どれだけ自分が気づいたかが、課題の実際の成果となる。								
オフィスワ-	講義終了後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 キャリアについて考える① 今までの学生生活を考える			講義・ワーク	板倉					
第2回 キャリアについて考える② 働く目的を考える			講義・ワーク	板倉					
第3回 キャリアについて考える③ 就職について考える			講義・ワーク	板倉					
第4回 キャリアについて考える④ 成りたい自分について考える			講義・ワーク	板倉					
第5回 キャリアについて考える⑤ キャリアデザイン1			講義・ワーク	板倉					
第6回 関係性を強める① 面接を経験する			講義・ワーク	板倉					
第7回 関係性を強める② 自分を伝える1			講義・ワーク	板倉					
第8回 関係性を強める③ 自分を伝える2			講義・ワーク	板倉					
第9回 関係性を強める④ グループディスカッションを理解する			筆記試験	板倉					
第10回 関係性を強める⑤ 職業特性を理解する				板倉					
第11回 就活に向けて① 業界・企業を知る				板倉					
第12回 就活に向けて② 求人票を理解する				板倉					
第13回 就活に向けて③ 自己理解を進める				板倉					
第14回 就活に向けて④ 起業について理解する				板倉					
第15回 就活に向けて⑤ キャリアデザイン2				板倉					
第16回 筆記試験				板倉					
教科書 1	使用せず								
教科書 2									
参考書 1	講義の中で随時紹介								
参考書 2									

授業科目名	英語 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	今田 圭介				NO.	GE-LE-1-001	
配当学科	農学部			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>専門科目書籍を将来読むにあたって、中学・高校で学んできた英語の総復習。加えて英語の音を切り口にした「聞く」「読む」「話す」技能の習得を目指します。(語学四技能の中の「書く」技能は後期から。)</p> <p>また、マインドマップを活用した講義を行ないます。</p>						
概要	<p>【音の習得】母音主体の日本語は日常的に約110の音で会話が成り立っていますが、英語は250から300の音で構成されていますので、英語を「聞く」「話す」際には日本語で日常的に使わない音を聞き分け、発していくことが必要となります。すなわち音に慣れ、正しい音を身に付けることが「聞く」「話す」ための近道となります。また、音や抑揚を身に付けると「話す」「聞く」さらには「読む」能力も自然に備わってきますので、英語を音の観点からも接していきます。</p> <p>【マインドマップ】ブレインストーミング、予復習の効率化、講義ノートの作成、情報の整理、記憶法、日程管理、To do リスト作成など仕事、勉強、日常生活の向上を図るマインドマップの紹介も行ないます。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、海外企業において実務経験のある外部講師がビジネスの現場において必要とされる英語力について講義し、学生の実践力を高める。</p>						
評価方法	<p>評価は、下記項目が対象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 認定試験結果(認定試験受験資格は規定の通り) * Quiz、小テスト * 授業参加意欲と課題提出(期日までに課題が未提出の場合成績に加味されます) * 出席率(遅刻、早退も加味されます) 						
履修条件・注意事項	<p>語学習得は、英語だけではなくすべての学習において同様で、「忘却曲線」との闘いです。</p> <p>1週間復習をしないと統計的に50%~70%忘れるとの結果が出ています。</p> <p>1度休むと2週間英語から離れることになり、記憶にとどまるものがさらに減っていくこととなります。</p> <p>そのため、継続学習の根本となる出席はマストですから、時間管理、健康管理をしっかり行ない、出席するようにして下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 毎回Quiz(小テスト)があり、評価に加味されます。 * マインドマップの課題があり、提出期限がありますので注意してください。 * オンライン授業ではイヤホンとマイク(ヘッドホン可)が必要になります。(用意できない場合は事務室に相談してください) 						
自己学習	<p>毎回次クラスで行われるQuiz(小テスト)用のボキャブラリーシートを配布します。</p> <p>専門書購読、資格試験受験時に必ず必要となるボキャブラリーですので、全部覚えるようにしてください。</p> <p>また、【マインドマップ】は自宅、学校、職場でも一生使えるツールで、皆さんの生活、仕事の質を高めるための宝となるものです。</p> <p>授業中だけではなく、常日頃から一人でも、仲間と一緒にでも使えるようにしてください。</p>						
オフィスワ-	クラス前後						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. イントロダクション・実力考査	講義	今田					
2. Vocab Quiz,Phonics,Listening 新しいノートの取り方紹介	講義	今田					
3. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 記憶法① 曜日	講義	今田					
4. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 記憶法② 月名	講義	今田					
5. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 時間・時刻	講義	今田					
6. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 数字・序数	講義	今田					
7. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 予習・復習方法	講義	今田					
8. Vocab Quiz,Phonics,Listening 情報のマインドマップ化	講義	今田					
9. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 日付・曜日・時間	講義	今田					
10. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 学部名	講義	今田					
11. Vocab Quiz,Phonics,Listening マインドマップ 企業情報・組織情報	講義	今田					
12. Vocab Quiz,Phonics,Listening 基礎文法 現在形	講義	今田					
13. Vocab Quiz,Phonics,Listening 基礎文法 be動詞 肯定文	講義	今田					
14. Vocab Quiz,Phonics,Listening 基礎文法 be動詞 否定文、疑問文	講義	今田					
15. Vocab Quiz,Phonics,Listening 総復習	講義	今田					
16. 試験	講義 試験	今田 今田					
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布します)						
教科書 2							
参考書 1							

授業科目名	英語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	今田 圭介					NO.	GE-LE-1-002
配当学科	農学部			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	専門科目書籍を読むにあたって、中学・高校で学んできた英語の総復習。特に「読む」技能に必須の文法に重きを置きます。学習者は既習事項を使って「書く」「話す」技能も身に付くようになることを目指します。						
概要	<p>【文法】語学における文法は建物の土台です。この土台が小さければ小さな建物しか建ちませんし、強固なものであれば高く、大きな建物になります。</p> <p>文法を細かく分けて、パーツ事に重要度の高い物から順次復習と応用を行ないます。</p> <p>【作文】既習文法を使い英作を行ないます。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>この科目は、海外企業において実務経験のある外部講師がビジネスの現場において必要とされる英語力について講義し、学生の実践力を高める。</p>						
評価方法	<p>評価は、下記項目が対象です。</p> <p>* 認定試験結果(認定試験受験資格は規定の通り)</p> <p>* Quiz、小テスト</p> <p>* 授業参加意欲、授業内での発話</p> <p>* 出席率(遅刻、早退も加味されます)</p>						
履修条件・注意事項	<p>語学習得は、英語だけではなくすべての語学についても同様で、「忘却曲線」との闘いです。</p> <p>1週間復習をしないと統計的に50%～70%忘れるとの結果が出ています。</p> <p>1度休むと2週間英語から離れることになり、記憶にとどまるものがさらに減っていくことになります。</p> <p>そのため、出席はマストですから、時間管理、健康管理をしっかり行ない、出席するようにして下さい。</p> <p>また、毎回Quiz(小テスト)があり、評価に加味されますので、注意してください。</p> <p>* オンライン授業ではイヤホンとマイク(ヘッドホン可)が必要です。</p> <p>(イヤホン、ヘッドホンを用意できない学生は事務室に相談して下さい)</p>						
自己学習	<p>毎回次クラスで行われるQuiz(小テスト)用のポキャブラリーシートを配布します。</p> <p>専門書購読、資格試験受験時に必ず必要となるポキャブラリーですので、全部覚えるようにして下さい。</p>						
オフィスワ-	クラス前後						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 文法 be動詞 現在形 肯定文・否定文・疑問文 2. Vocab Quiz・文法 形容詞と名詞 3. Vocab Quiz・文法 副詞 4. Vocab Quiz・文法 be動詞 現在形 肯定文・否定文・疑問文 5. Vocab Quiz・文法 一般動詞 肯定文 6. Vocab Quiz・文法 一般動詞 否定文 7. Vocab Quiz・文法 一般動詞 疑問文 8. Vocab Quiz・文法 疑問詞を使った疑問文① When,Where 9. Vocab Quiz・文法 疑問詞を使った疑問文② Who,What 10. Vocab Quiz・文法 疑問詞を使った疑問文③ Why,How 11. Vocab Quiz・文法 疑問詞を使った疑問文④ 長い疑問詞 What kind of 12. Vocab Quiz・文法 疑問詞を使った疑問文⑤ 長い疑問詞 How+形容詞/副詞 13. Vocab Quiz・文法 be動詞、一般動詞を使った受け答え 14. Vocab Quiz・文法 be動詞 過去形 肯定文 15. Vocab Quiz・文法 be動詞 過去形 否定文 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田 今田		
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布します)						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期			
担当者	今田 圭介					NO.	GE-LE-2-003	
配当学科	農学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>【文法総復習】語学学習は10歳ごろを分岐点にして条件学習と概念学習に分かれる。条件学習とは個体が環境適応の過程で周りで使われる言葉を自然に吸収し使う行為で、赤ちゃんや幼少児童に見られるものです。文法などの説明がなくても吸収して自分のものとして使う能力を有する現象です。それに対して概念学習とは、理由や理屈などの説明を理解しながら徐々に自分のものにし、使うようになる行為を言います。「なぜ英語はこのような文章に組み立てられているのか」とともに理解し、専門書購読に必要な文法力を養うことを目標とする。</p>							
概要	<p>【文法】語学における文法は建物の土台です。この土台が小さければ小さな建物しか建ちませんし、強固なものであれば高く、大きな建物になります。文法を細かく分けて、パーツ事に重要度の高い物から順次復習と応用を行ないます。</p> <p>【作文】既習文法を使い英作を行ないます。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、海外企業において実務経験のある外部講師がビジネスの現場において必要とされる英語力について講義し、学生の実践力を高める。</p>							
評価方法	<p>評価は下記の項目で行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 単位認定試験結果(単位認定試験受験資格は規定の通り) * Quiz(小テスト) * 講義参加意欲、授業内での発話 * 出席率(遅刻・早退も加味します) 							
履修条件・注意事項	<p>語学は忘却曲線との闘いです。学んだものを1週間復習しなければその50%~70%を忘れるとの研究結果があります。1講義休むと2週間空くことになり、その忘却量は相当なものです。出席はマストです。また、講義中にQuiz(小テスト)が行われますので必ず受講してください。*オンライン授業の場合はイヤホン、マイク(ヘッドホン可)が必要です。(イヤホン、マイクを準備できない学生は事務室に相談してください)</p>							
自己学習	<p>講義でのQuiz(小テスト)は語彙(ボキャブラリー)が中心です。専門書購読や資格試験受験時に最低限必須となるボキャブラリーを暗記します。地道な作業ですが、しっかり語彙力をつけてください。</p> <p>英語の語彙(ボキャブラリー)が増えると日本語の語彙も増えますので、一石二鳥です。</p>							
オフィスワ-	講義前後							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 文法 be動詞過去形 肯定文		講義	今田					
2. Vocab Quiz・文法 be動詞 過去形 否定文		講義	今田					
3. Vocab Quiz・文法 be動詞 過去形 疑問文		講義	今田					
4. Vocab Quiz・文法 be動詞 過去形 疑問詞を使った疑問文		講義	今田					
5. Vocab Quiz・文法 一般動詞 過去形 肯定文		講義	今田					
6. Vocab Quiz・文法 一般動詞 過去形 否定文		講義	今田					
7. Vocab Quiz・文法 一般動詞 過去形 疑問文		講義	今田					
8. Vocab Quiz・文法 一般動詞 過去形 疑問詞を使った疑問文		講義	今田					
9. Vocab Quiz・文法 be動詞、一般動詞 現在形・過去形 総復習		講義	今田					
10. Vocab Quiz・文法 未来を表す表現		講義	今田					
11. Vocab Quiz・文法 現在進行形		講義	今田					
12. Vocab Quiz・文法 可算名詞・不可算名詞		講義	今田					
13. Vocab Quiz・文法 冠詞		講義	今田					
14. Vocab Quiz・文法 代名詞		講義	今田					
15. Vocab Quiz・文法 前置詞		講義	今田					
16. 試験		試験	今田					
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布します)							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	文章表現入門			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 慶子					NO.	GE-CH-1-001
配当学科	農学部			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:レポート・小論文作成、社交文書、ビジネス文書の基礎を習得し実践する 到達目標:文章作成の基本、論理的な書き方、報告文、レポート作成の基本を習得し、社会人として学生として必要な時、必要な場面で、必要に応じて臨機応変に文章・文書作成ができることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>文章作成には、起承転結、序論、本論、結論などテーマによって、書き方に違いがあり、明瞭・簡潔な文章が適切なことば表現で記述できるように説明する。社会人基礎力の考える力、文章の構成について、基礎的内容を習得する。文章は誰が読んでも同じ理解を得られる表現で書き、言葉の意味を深めた他者が理解できる内容で作成する。さらに、文章を論理的に書くこと、自分の意見・主張における根拠が明確に述べられていること、適切に構成されていること、キーワードなど、基礎力が身に付くよう説明する。講義では理論と実践を同時に行って文章の上達を目指すものである。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、企業の経営活動において実務経験のある外部講師がビジネスにおいて必要とされる文章能力について講義し、学生の理解を深める。担当者は、企業の外資系企業および日本企業の役員秘書として実務を担当し多岐にわたる文章を作成してきた実務経験を有するものであり、指導に当たる。</p>						
評価方法	積極的な授業参加と発表 25%、レポート作成 25%、期末試験50%						
履修条件・注意事項	授業は最初から休まず積極的に参加すること。授業において簡単なレポート提出を求められることがあり、すべて評価する。その評価の積み重ねが文章上達の力になる。レポート提出は加点とする。						
自己学習	予習、復習を積極的に行うこと、各授業計画に記載されている内容について関連する本を多く読むように心掛ける。言葉の語彙やビジネス表現用語を理解を深めること。とくに、復習は、講義内容の意味を理解、確認するためにノートの要点整理を行うこと。						
オフィスワ-	授業終了後教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 文章表現 わかりやすい文章 2. 力強い文章 3. 段落(paragraph) 4. センテンス(文)と推敲 5. レポート・卒論の注意点と表現について 6. レポートを作成する方法 7. 技術的なレポートの構成 8. 論理的な文章表現 9. より良いレポートに仕上げる 10. ビジネス文書作成方法 11. 報告書、稟議書、その他社会人組織で作成する文書 12. 自己PR文書作成 13. 一般的な事例の文章作成 14. 事例研究レポート作成 15. まとめ 16. 試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 講義 筆記試験	山本
教科書 1	資料を配布						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							